

#### 4. 斜面崩壊危険度の予測

地震時には落石の発生や斜面崩壊が多々発生し、福岡県西方沖地震や兵庫県南部地震でも斜面崩壊が確認された。

斜面崩壊における通常時の危険性については、地形要因や地質土質要因、環境要因を考慮した所定の方法によって個別に判定されている。したがって、地震時における斜面の崩壊発生も、地震動の大きさのみならず、地形、地質等による影響も考慮する必要がある。

本調査では、斜面崩壊の危険があるもののうち県内で設定されている急傾斜地崩壊危険箇所（国土交通省・県所管）8,382箇所について、個々の斜面における地形や地被の状況（地震動に対し斜面のもつ崩壊の素因的条件）と、当該斜面の存在するメッシュにおける地表面加速度の大きさから、斜面の崩壊危険度を予測した。

##### 4.1 斜面崩壊危険度の予測の流れ

斜面崩壊危険度の予測の流れを以下に示す。

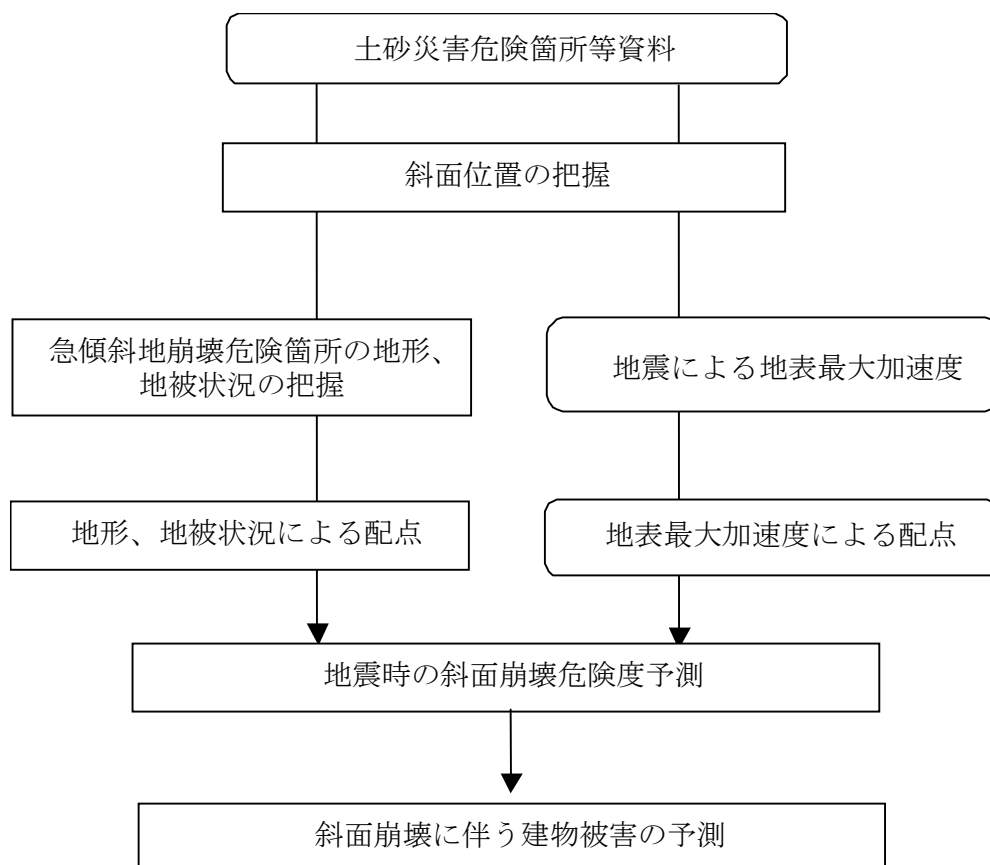


図 4.1-1 斜面崩壊危険度の予測の流れ

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4.斜面崩壊危険度の予測

4.2 斜面崩壊危険度の予測手法

斜面崩壊危険度は、個々の斜面毎に予測を行った。

4.2.1 斜面崩壊危険度の予測

(1) 斜面位置の把握

斜面崩壊予測の対象とした急傾斜地崩壊危険箇所が、いずれの解析メッシュに属するかを把握するため、以下の作業を行った。

- ① 急傾斜地崩壊危険箇所データの重心点データ作成
- ② 解析メッシュデータの重ね合せ

(2) 地震動による重みづけ

損害保険料率算定会（1994）による、地表最大加速度と崩壊率との関係を用いて、発生率の区分により地表最大加速度に対して配点を設定した。

表 4.2-1 地表最大加速度の地震崩壊に対する配点

地表最大加速度	配点
1,000gal以上	5
900～1,000gal未満	4
800～900gal未満	3
700～800gal未満	2
550～700gal未満	1
450～550gal未満	-1
350～450gal未満	-2
250～350gal未満	-3
100～250gal未満	-4
0～100gal未満	-5

(3) 斜面の地形及び地被状況による配点


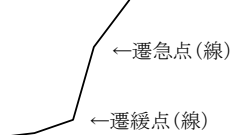
斜面の地形や地被状況に関する項目から、斜面における崩壊の素因の大小を、点数化し、配点を行った。

斜面の地形及び地被状況による配点の評価項目は、以下の4項目とした。

- ① 斜面勾配
- ② 斜面形状
- ③ 植生
- ④ 遷急線の有無

これら要因に対する配点は、収集した急傾斜地崩壊危険箇所の属性データベースから該当項目を抽出し、実施した。

表 4.2-2 斜面崩壊危険度の配点表（斜面の形状及び地被状況に関する項目）

要因	分類	配点	備考	
斜面勾配	61～90°	5	勾配が急になるほど、斜面崩壊の危険性は高くなると考えられ、一般に斜面勾配が30°以上の斜面で崩壊の危険性が高い。	
	51～60°	3		
	41～50°	2		
	31～40°	1		
	21～30°	-1		
	11～20°	-3		
	0～10°	-5		
斜面形状	上昇型	2	斜面の縦断形状により分類を行っており、一般には上昇型（縦断形状が凸型）の斜面が崩壊危険性が高い。	斜面の縦断形状による分類  上昇型      平衡型      下降型
	平衡型	-2		
	下降型	-3		
植生	裸地	3	斜面表層の地被がない裸地では、崩壊の危険性が高い。	一般的に杉などの針葉樹は、広葉樹に比べると成長が早く、山地や斜面の保水効果に寄与することが多い。また、広葉樹は温帯から熱帯に多く、一方、杉などの針葉樹は、地すべりの多い東北地方など温帯北部から冷帯に分布し、効果が確かめられている。
	広葉樹	1		
	針葉樹	-1		
遷急線	有	2	遷急線が明瞭な斜面では、遷急線付近から崩壊を生じる危険性が高い。	 ←遷急点(線) ←遷緩点(線)
	無	-2		

(4) 地震による斜面崩壊危険度ランクの設定

想定される地表最大加速度による配点と、斜面形状及び地被状況による配点を合計し、その合計により当該斜面（急傾斜地崩壊危険箇所）の地震による斜面崩壊危険度ランクを設定した。

地震による斜面崩壊危険度ランクは、過去の3地震（えびの地震：1968、新潟地震：1964、大分県中部地震：1975）における斜面崩壊の実績などからA～Cの3ランクが設定されており、各ランクの配点は表 4.2-3 のようになっている。

なお過去の3地震で各ランクに該当する危険箇所のうち実際に崩壊を生じた箇所の割合は、Aランクに該当する危険箇所が 77%、Bランクに該当する危険箇所が 48%、Cランクに該当する危険箇所が 22%となっている。

表 4.2-3 危険度ランクの設定と崩壊発生率

危険度ランク	配点	危険度	3地震での平均発生率
A	-1～	高い	77%
B	-2～-6	やや高い	48%
C	～-7	低い	22%

本調査では、このランク設定表に基づいて、急傾斜地崩壊危険箇所を想定地震別にA～Cの3ランクに分類した。

## 第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

### 4. 斜面崩壊危険度の予測

#### 4.2.2 斜面崩壊に伴う建物被害の予測手法

斜面崩壊に伴う建物被害の予測は、以下の式により求めた（資料編 参考9）。

$$\begin{aligned} \text{被災建物数} &= (\text{建物棟数}) \times (\text{崩壊面積率}) \times 2 \\ \text{ここに、崩壊面積率} &= 4.2 \times 10^{-8} \times (\text{加速度})^{2.95} \end{aligned}$$

なお、斜面崩壊に伴う建物被害の算出においては、表 4.2-3 に示す危険度ランク別の平均崩壊発生率を考慮した。また、建物棟数は、各急傾斜地崩壊危険箇所の既往調査結果（急傾斜地崩壊危険箇所属性データベース）をもとに算出した。

### 4.3 基礎資料

斜面崩壊予測は、以下の資料をもとに検討を行った。

表 4.3-1 土砂災害危険度評価の対象箇所

対象箇所	管 理	箇所数	備 考
急傾斜地崩壊危険箇所 位置データ・属性データベース	県砂防課	8,382	電子データとして収集

### 4.4 斜面崩壊危険度の予測結果

#### (1) 斜面崩壊危険度の予測結果

各想定地震における斜面崩壊による被害の予測結果を総括して以下にまとめる。

表 4.4-1 斜面崩壊危険度ランク別急傾斜地崩壊危険箇所数一覧

断層	破壊開始	崩壊発生危険度別斜面数			被害棟数
		A	B	C	
小倉東断層	南西下部	13	5,075	3,294	92
	中央下部	22	5,536	2,824	73
	北東下部	26	5,714	2,642	18
西山断層	南東下部	45	6,295	2,042	64
	中央下部	157	6,980	1,245	153
	北西下部	148	6,945	1,289	111
警固断層 (南東部)	南東下部	94	6,097	2,191	118
	中央下部	134	6,781	1,467	207
	北西下部	82	6,744	1,556	147
水縄断層	北東下部	66	6,060	2,256	45
	中央下部	89	6,311	1,982	54
	南西下部	38	5,963	2,381	22
基盤一定	—	194	7,377	811	177

1) 小倉東断層

南西下部	建物被害が想定されているのは、北九州市のみで 92 棟の被害が想定されている。
中央下部	想定被害棟数が最も多いのは北九州市で建物被害が 67 棟と想定されている。その他、行橋市 1 棟、中間市 3 棟、苅田町 2 棟の被害が想定されている。
北東下部	想定被害棟数が最も多いのは北九州市で建物被害が 11 棟と想定されている。その他、田川市 1 棟、行橋市 1 棟、香春町 3 棟、みやこ町 2 棟の被害が想定されている。

## 第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

### 4. 斜面崩壊危険度の予測

#### 2) 西山断層

南東下部	想定 of 被害棟数が最も多いのは宗像市で建物被害が 36 棟と想定されている。その他、北九州市 4 棟、福岡市 4 棟、中間市 3 棟、古賀市 1 棟、福津市 5 棟、宮若市 10 棟、岡垣市 1 棟の被害が想定されている。
中央下部	被害棟数が多い地域として福岡市の 32 棟、宗像市の 31 棟、宮若市の 22 棟、飯塚市 21 棟が想定されている。その他、北九州市 12 棟、直方市 1 棟、田川市 2 棟、中間市 6 棟、大野城市 1 棟、大宰府市 5 棟、古賀市 1 棟、福津市 4 棟、宇美町 2 棟、篠栗町 2 棟、志免町 3 棟、須恵町 1 棟、久山町 2 棟、岡垣町 3 棟、遠賀町 1 棟、糸田町 1 棟の被害が想定されている。
北西下部	被害棟数が多い地域として飯塚市の 41 棟、宮若市の 19 棟が想定されている。その他、北九州市 3 棟、福岡市 9 棟、直方市 1 棟、田川市 5 棟、中間市 2 棟、筑紫野市 2 棟、大野城市 1 棟、宗像市 5 棟、太宰府市 8 棟、嘉麻市 2 棟、宇美町 4 棟、志免町 2 棟、須恵町 1 棟、桂川町 2 棟、香春町 2 棟、糸田町 1 棟、福智町 1 棟、の被害が想定されている。

#### 3) 警固断層（南東部）

南東下部	想定 of 被害棟数が最も多いのは福岡市で建物被害が 97 棟と想定されている。その他、筑紫野市 1 棟、大野城市 1 棟、太宰府市 3 棟、糸島市 6 棟、宇美町 2 棟、志免町 8 棟の被害が想定されている。
中央下部	被害棟数が多い地域として福岡市 108 棟、太宰府市 35 棟が想定されている。その他、筑紫野市 13 棟、大野城市 7 棟、宮若市 2 棟、糸島市 1 棟、那珂川町 4 棟、宇美町 13 棟、篠栗町 2 棟、志免町 15 棟、須恵町 7 棟の被害が想定されている。
北西下部	被害棟数が多い地域として太宰府市 50 棟、福岡市 37 棟、筑紫野市 22 棟が想定されている。その他、八女市 1 棟、大野城市 8 棟、宮若市 1 棟、那珂川町 3 棟、宇美町 12 棟、志免町 11 棟、須恵町 2 棟の被害が想定されている。

#### 4) 水縄断層

北東下部	建物被害が想定されている地域は久留米市 12 棟、みやま市 12 棟、八女市 11 棟、広川町 8 棟、福岡市 1 棟、太宰府市 1 棟となっている。
中央下部	想定 of 被害棟数が最も多いのは八女市 23 棟となっている。その他、広川町 8 棟、久留米市 7 棟、うきは市 5 棟、朝倉市 5 棟、みやま市 5 棟、太宰府市 1 棟の被害が想定されている。
南西下部	建物被害が想定されている地域は、八女市 10 棟、うきは市 6 棟、朝倉市 5 棟、久留米市 1 棟となっている。

#### 6) 基盤一定

被害棟数が多い地域として北九州市 59 棟、福岡市 27 棟が想定されている。その他、大牟田市 14 棟、中間市 13 棟、みやま市 12 棟、飯塚市 9 棟、八女市 6 棟、太宰府市 6 棟、宗像市 5 棟、田川市 4 棟、宮若市 4 棟、志免町 3 棟、香春町 3 棟、行橋市 2 棟、筑紫野市 2 棟、久留米市 1 棟、大野城市 1 棟、糸島市 1 棟、宇美町 1 棟、須恵町 1 棟、糸田町 1 棟、苅田町 1 棟、みやこ町 1 棟の被害が想定されている。
--

(2) 斜面崩壊危険度の予測結果表

各想定地震による斜面崩壊危険度の予測結果を表 4.4-2 に示す。また、崩壊発生危険度の高い(ランク A)斜面の分布について、図 4.4-1 に示した。同図は、250m メッシュ内に含まれるランク A 斜面数を示したものである。

1) 斜面崩壊危険度の予測結果表を見る上の留意点

- ① 斜面崩壊危険度予測結果表の市町村毎の算定値は、少数点以下の値も含んでいるが、表では小数点第 1 位で四捨五入することにより整数化して表示している。一方、各地区や全県の算定値は、市町村毎に算出された少数点以下の値も含んだ集計値を四捨五入することにより整数化したものであるため、集計表の市町村毎の算定値とは必ずしも一致しないことがある。
- ② 基盤一定の場合では他の想定地震と異なり、地区や全県の算定値を示していない。これは、市町村毎の被害程度を見るためのものである。

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表4. 4-2(1) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：南西下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	13	515	106	92
130	福岡市	757	0	476	281	0
202	大牟田市	235	0	120	115	0
203	久留米市	123	0	50	73	0
204	直方市	301	0	246	55	0
205	飯塚市	405	0	234	171	0
206	田川市	128	0	81	47	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	261	306	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	59	39	0
214	豊前市	54	0	26	28	0
215	中間市	31	0	31	0	0
216	小郡市	16	0	5	11	0
217	筑紫野市	139	0	79	60	0
218	春日市	13	0	12	1	0
219	大野城市	38	0	16	22	0
220	宗像市	482	0	227	255	0
221	太宰府市	118	0	68	50	0
223	古賀市	52	0	30	22	0
224	福津市	180	0	64	116	0
225	うきは市	91	0	38	53	0
226	宮若市	495	0	377	118	0
227	嘉麻市	314	0	263	51	0
228	朝倉市	207	0	128	79	0
229	みやま市	197	0	105	92	0
230	糸島市	581	0	225	356	0
305	那珂川町	106	0	45	61	0
341	宇美町	124	0	80	44	0
342	篠栗町	115	0	75	40	0
343	志免町	34	0	26	8	0
344	須恵町	60	0	29	31	0
345	新宮町	40	0	20	20	0
348	久山町	45	0	20	25	0
349	粕屋町	18	0	9	9	0
381	芦屋町	21	0	20	1	0
382	水巻町	40	0	26	14	0
383	岡垣町	68	0	45	23	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	61	39	0
402	鞍手町	96	0	50	46	0
421	桂川町	52	0	37	15	0
447	筑前町	53	0	31	22	0
448	東峰村	86	0	65	21	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	15	31	0
601	香春町	32	0	29	3	0
602	添田町	169	0	77	92	0
604	糸田町	14	0	12	2	0
605	川崎町	119	0	45	74	0
608	大任町	52	0	39	13	0
609	赤村	79	0	60	19	0
610	福智町	76	0	60	16	0
621	苅田町	108	0	81	27	0
625	みやこ町	237	0	196	41	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	24	17	0
647	築上町	76	0	48	28	0
	計	8,382	13	5,075	3,294	92



表 4. 4-2(2) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：中央下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	12	515	107	67
130	福岡市	757	0	484	273	0
202	大牟田市	235	0	120	115	0
203	久留米市	123	0	50	73	0
204	直方市	301	0	281	20	0
205	飯塚市	405	1	264	140	0
206	田川市	128	2	108	18	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	266	301	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	67	31	1
214	豊前市	54	0	33	21	0
215	中間市	31	1	30	0	3
216	小郡市	16	0	5	11	0
217	筑紫野市	139	0	81	58	0
218	春日市	13	0	12	1	0
219	大野城市	38	0	19	19	0
220	宗像市	482	0	275	207	0
221	太宰府市	118	0	78	40	0
223	古賀市	52	0	31	21	0
224	福津市	180	0	76	104	0
225	うきは市	91	0	42	49	0
226	宮若市	495	0	415	80	0
227	嘉麻市	314	0	268	46	0
228	朝倉市	207	0	132	75	0
229	みやま市	197	0	106	91	0
230	糸島市	581	0	231	350	0
305	那珂川町	106	0	45	61	0
341	宇美町	124	0	82	42	0
342	篠栗町	115	0	75	40	0
343	志免町	34	0	26	8	0
344	須恵町	60	0	35	25	0
345	新宮町	40	0	22	18	0
348	久山町	45	0	28	17	0
349	粕屋町	18	0	11	7	0
381	芦屋町	21	0	20	1	0
382	水巻町	40	0	31	9	0
383	岡垣町	68	1	50	17	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	87	13	0
402	鞍手町	96	0	77	19	0
421	桂川町	52	0	38	14	0
447	筑前町	53	0	31	22	0
448	東峰村	86	0	67	19	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	15	31	0
601	香春町	32	0	31	1	0
602	添田町	169	0	116	53	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	79	40	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	68	11	0
610	福智町	76	2	69	5	0
621	荏田町	108	3	81	24	2
625	みやこ町	237	0	210	27	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	28	13	0
647	築上町	76	0	51	25	0
	計	8,382	22	5,536	2,824	73

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4. 4-2(3) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：北東下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	6	483	145	11
130	福岡市	757	0	504	253	0
202	大牟田市	235	0	120	115	0
203	久留米市	123	0	52	71	0
204	直方市	301	1	282	18	0
205	飯塚市	405	4	284	117	0
206	田川市	128	3	113	12	1
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	279	288	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	1	67	30	1
214	豊前市	54	0	39	15	0
215	中間市	31	0	31	0	0
216	小郡市	16	0	5	11	0
217	筑紫野市	139	0	85	54	0
218	春日市	13	0	12	1	0
219	大野城市	38	0	24	14	0
220	宗像市	482	0	252	230	0
221	太宰府市	118	0	88	30	0
223	古賀市	52	0	33	19	0
224	福津市	180	0	76	104	0
225	うきは市	91	0	43	48	0
226	宮若市	495	0	441	54	0
227	嘉麻市	314	0	274	40	0
228	朝倉市	207	0	141	66	0
229	みやま市	197	0	107	90	0
230	糸島市	581	0	235	346	0
305	那珂川町	106	0	45	61	0
341	宇美町	124	0	88	36	0
342	篠栗町	115	0	77	38	0
343	志免町	34	0	28	6	0
344	須恵町	60	0	51	9	0
345	新宮町	40	0	22	18	0
348	久山町	45	0	30	15	0
349	粕屋町	18	0	11	7	0
381	芦屋町	21	0	17	4	0
382	水巻町	40	0	26	14	0
383	岡垣町	68	0	47	21	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	93	7	0
402	鞍手町	96	0	79	17	0
421	桂川町	52	0	40	12	0
447	筑前町	53	0	32	21	0
448	東峰村	86	0	68	18	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	15	31	0
601	香春町	32	0	31	1	3
602	添田町	169	0	140	29	0
604	糸田町	14	2	11	1	0
605	川崎町	119	0	101	18	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	74	5	0
610	福智町	76	5	68	3	0
621	荻田町	108	2	81	25	2
625	みやこ町	237	1	215	21	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	35	6	0
647	薬上町	76	1	58	17	0
計		8,382	26	5,714	2,642	18

表 4. 4-2(4) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：南東下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	1	426	207	4
130	福岡市	757	5	646	106	4
202	大牟田市	235	0	122	113	0
203	久留米市	123	0	57	66	0
204	直方市	301	0	274	27	0
205	飯塚市	405	4	335	66	0
206	田川市	128	0	101	27	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	288	279	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	40	58	0
214	豊前市	54	0	26	28	0
215	中間市	31	0	31	0	3
216	小郡市	16	0	5	11	0
217	筑紫野市	139	0	99	40	0
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	34	4	0
220	宗像市	482	11	440	31	36
221	太宰府市	118	0	110	8	0
223	古賀市	52	0	49	3	1
224	福津市	180	2	166	12	5
225	うきは市	91	0	43	48	0
226	宮若市	495	17	457	21	10
227	嘉麻市	314	0	273	41	0
228	朝倉市	207	0	138	69	0
229	みやま市	197	0	115	82	0
230	糸島市	581	1	360	220	0
305	那珂川町	106	0	63	43	0
341	宇美町	124	0	112	12	0
342	篠栗町	115	1	107	7	0
343	志免町	34	1	31	2	0
344	須恵町	60	0	56	4	0
345	新宮町	40	0	35	5	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	0	17	1	0
381	芦屋町	21	0	21	0	0
382	水巻町	40	0	32	8	0
383	岡垣町	68	2	59	7	1
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	94	6	0
402	鞍手町	96	0	82	14	0
421	桂川町	52	0	43	9	0
447	筑前町	53	0	34	19	0
448	東峰村	86	0	67	19	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	17	29	0
601	香春町	32	0	26	6	0
602	添田町	169	0	109	60	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	74	45	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	63	16	0
610	福智町	76	0	68	8	0
621	荻田町	108	0	54	54	0
625	みやこ町	237	0	192	45	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	26	15	0
647	築上町	76	0	48	28	0
	計	8,382	45	6,295	2,042	64

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4.4-2(5) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：中央下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	3	510	121	12
130	福岡市	757	20	684	53	32
202	大牟田市	235	0	147	88	0
203	久留米市	123	0	88	35	0
204	直方市	301	6	278	17	1
205	飯塚市	405	29	331	45	21
206	田川市	128	4	115	9	2
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	335	232	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	61	37	0
214	豊前市	54	0	36	18	0
215	中間市	31	3	28	0	6
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	0
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	1
220	宗像市	482	8	441	33	31
221	太宰府市	118	2	110	6	5
223	古賀市	52	0	49	3	1
224	福津市	180	2	165	13	4
225	うきは市	91	0	56	35	0
226	宮若市	495	44	430	21	22
227	嘉麻市	314	3	305	6	0
228	朝倉市	207	0	187	20	0
229	みやま市	197	0	132	65	0
230	糸島市	581	1	460	120	0
305	那珂川町	106	0	80	26	0
341	宇美町	124	5	108	11	2
342	篠栗町	115	3	106	6	2
343	志免町	34	3	29	2	3
344	須恵町	60	1	56	3	1
345	新宮町	40	0	36	4	0
348	久山町	45	0	43	2	2
349	粕屋町	18	2	15	1	0
381	芦屋町	21	0	21	0	0
382	水巻町	40	0	34	6	0
383	岡垣町	68	5	56	7	3
384	遠賀町	11	0	10	1	1
401	小竹町	100	4	90	6	0
402	鞍手町	96	1	82	13	0
421	桂川町	52	1	47	4	0
447	筑前町	53	0	49	4	0
448	東峰村	86	0	78	8	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	33	13	0
601	香春町	32	0	31	1	0
602	添田町	169	0	157	12	0
604	糸田町	14	2	11	1	1
605	川崎町	119	0	110	9	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	74	5	0
610	福智町	76	5	68	3	0
621	荻田町	108	0	68	40	0
625	みやこ町	237	0	211	26	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	35	6	0
647	築上町	76	0	53	23	0
計		8,382	157	6,980	1,245	153

表 4. 4-2(6) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：北西下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	1	467	166	3
130	福岡市	757	8	667	82	9
202	大牟田市	235	0	168	67	0
203	久留米市	123	0	95	28	0
204	直方市	301	3	281	17	1
205	飯塚市	405	43	325	37	41
206	田川市	128	6	113	9	5
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	1	383	183	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	64	34	0
214	豊前市	54	0	40	14	0
215	中間市	31	0	31	0	2
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	2
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	1
220	宗像市	482	1	420	61	5
221	太宰府市	118	3	112	3	8
223	古賀市	52	0	48	4	0
224	福津市	180	1	160	19	0
225	うきは市	91	0	85	6	0
226	宮若市	495	41	433	21	19
227	嘉麻市	314	10	298	6	2
228	朝倉市	207	1	198	8	0
229	みやま市	197	1	156	40	0
230	糸島市	581	0	348	233	0
305	那珂川町	106	0	80	26	0
341	宇美町	124	6	107	11	4
342	篠栗町	115	3	106	6	0
343	志免町	34	1	31	2	2
344	須恵町	60	1	56	3	1
345	新宮町	40	0	35	5	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	1	16	1	0
381	芦屋町	21	0	20	1	0
382	水巻町	40	0	31	9	0
383	岡垣町	68	1	55	12	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	3	91	6	0
402	鞍手町	96	0	82	14	0
421	桂川町	52	2	46	4	2
447	筑前町	53	0	52	1	0
448	東峰村	86	0	81	5	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	39	7	0
601	香春町	32	0	31	1	2
602	添田町	169	1	156	12	0
604	糸田町	14	2	11	1	1
605	川崎町	119	0	110	9	0
608	大任町	52	1	46	5	0
609	赤村	79	1	74	4	0
610	福智町	76	5	69	2	1
621	荏田町	108	0	70	38	0
625	みやこ町	237	0	216	21	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	36	5	0
647	築上町	76	0	59	17	0
	計	8,382	148	6,945	1,289	111

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4.4-2(7) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：南東下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	331	303	0
130	福岡市	757	61	663	33	97
202	大牟田市	235	0	136	99	0
203	久留米市	123	0	69	54	0
204	直方市	301	0	229	72	0
205	飯塚市	405	1	267	137	0
206	田川市	128	0	85	43	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	296	271	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	34	64	0
214	豊前市	54	0	24	30	0
215	中間市	31	0	27	4	0
216	小郡市	16	0	9	7	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	1
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	1
220	宗像市	482	0	407	75	0
221	太宰府市	118	2	110	6	3
223	古賀市	52	0	48	4	0
224	福津市	180	0	161	19	0
225	うきは市	91	0	43	48	0
226	宮若市	495	2	428	65	0
227	嘉麻市	314	0	270	44	0
228	朝倉市	207	0	147	60	0
229	みやま市	197	0	124	73	0
230	糸島市	581	16	478	87	6
305	那珂川町	106	0	81	25	0
341	宇美町	124	4	108	12	2
342	篠栗町	115	2	106	7	0
343	志免町	34	3	29	2	8
344	須恵町	60	1	55	4	0
345	新宮町	40	0	35	5	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	1	16	1	0
381	芦屋町	21	0	17	4	0
382	水巻町	40	0	20	20	0
383	岡垣町	68	1	52	15	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	74	26	0
402	鞍手町	96	0	63	33	0
421	桂川町	52	0	40	12	0
447	筑前町	53	0	34	19	0
448	東峰村	86	0	67	19	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	28	18	0
601	香春町	32	0	25	7	0
602	添田町	169	0	101	68	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	56	63	0
608	大任町	52	0	40	12	0
609	赤村	79	0	59	20	0
610	福智町	76	0	57	19	0
621	荻田町	108	0	45	63	0
625	みやこ町	237	0	188	49	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	25	16	0
647	築上町	76	0	42	34	0
計		8,382	94	6,097	2,191	118

表 4.4-2(8) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：中央下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	379	255	0
130	福岡市	757	65	662	30	108
202	大牟田市	235	0	170	65	0
203	久留米市	123	0	95	28	0
204	直方市	301	0	260	41	0
205	飯塚市	405	4	348	53	0
206	田川市	128	1	107	20	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	0	353	214	0
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	49	49	0
214	豊前市	54	0	28	26	0
215	中間市	31	0	30	1	0
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	2	128	9	13
218	春日市	13	1	12	0	0
219	大野城市	38	2	36	0	7
220	宗像市	482	0	422	60	0
221	太宰府市	118	15	103	0	35
223	古賀市	52	0	48	4	0
224	福津市	180	0	161	19	0
225	うきは市	91	0	57	34	0
226	宮若市	495	5	469	21	2
227	嘉麻市	314	0	296	18	0
228	朝倉市	207	0	187	20	0
229	みやま市	197	1	155	41	0
230	糸島市	581	9	482	90	1
305	那珂川町	106	3	80	23	4
341	宇美町	124	12	109	3	13
342	篠栗町	115	2	107	6	2
343	志免町	34	7	25	2	15
344	須恵町	60	1	57	2	7
345	新宮町	40	0	35	5	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	3	15	0	0
381	芦屋町	21	0	18	3	0
382	水巻町	40	0	24	16	0
383	岡垣町	68	1	53	14	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	0	89	11	0
402	鞍手町	96	0	81	15	0
421	桂川町	52	0	48	4	0
447	筑前町	53	0	51	2	0
448	東峰村	86	0	72	14	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	39	7	0
601	香春町	32	0	27	5	0
602	添田町	169	0	142	27	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	90	29	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	67	12	0
610	福智町	76	0	65	11	0
621	荻田町	108	0	54	54	0
625	みやこ町	237	0	193	44	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	26	15	0
647	築上町	76	0	48	28	0
	計	8,382	134	6,781	1,467	207

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4.4-2(9) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：北西下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	350	284	0
130	福岡市	757	17	702	38	37
202	大牟田市	235	0	187	48	0
203	久留米市	123	0	95	28	0
204	直方市	301	0	244	57	0
205	飯塚市	405	4	345	56	0
206	田川市	128	1	116	11	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	2	421	144	1
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	52	46	0
214	豊前市	54	0	36	18	0
215	中間市	31	0	27	4	0
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	5	127	7	22
218	春日市	13	1	12	0	0
219	大野城市	38	2	36	0	8
220	宗像市	482	0	303	179	0
221	太宰府市	118	20	98	0	50
223	古賀市	52	0	46	6	0
224	福津市	180	0	150	30	0
225	うきは市	91	0	83	8	0
226	宮若市	495	2	448	45	1
227	嘉麻市	314	2	306	6	0
228	朝倉市	207	1	198	8	0
229	みやま市	197	1	172	24	0
230	糸島市	581	1	425	155	0
305	那珂川町	106	3	80	23	3
341	宇美町	124	9	110	5	12
342	篠栗町	115	2	107	6	0
343	志免町	34	5	27	2	11
344	須恵町	60	1	57	2	2
345	新宮町	40	0	34	6	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	2	15	1	0
381	芦屋町	21	0	16	5	0
382	水巻町	40	0	20	20	0
383	岡垣町	68	0	44	24	0
384	遠賀町	11	0	9	2	0
401	小竹町	100	0	87	13	0
402	鞍手町	96	0	67	29	0
421	桂川町	52	0	48	4	0
447	筑前町	53	1	51	1	0
448	東峰村	86	0	81	5	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	0	39	7	0
601	香春町	32	0	28	4	0
602	添田町	169	0	157	12	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	100	19	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	69	10	0
610	福智町	76	0	65	11	0
621	荻田町	108	0	54	54	0
625	みやこ町	237	0	197	40	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	35	6	0
647	薬上町	76	0	49	27	0
計		8,382	82	6,744	1,556	147



表 4.4-2(10) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：北東下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	285	349	0
130	福岡市	757	1	654	102	1
202	大牟田市	235	4	201	30	0
203	久留米市	123	14	106	3	12
204	直方市	301	0	207	94	0
205	飯塚市	405	1	259	145	0
206	田川市	128	0	86	42	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	17	479	71	11
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	31	67	0
214	豊前市	54	0	26	28	0
215	中間市	31	0	26	5	0
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	0
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	0
220	宗像市	482	0	215	267	0
221	太宰府市	118	1	111	6	1
223	古賀市	52	0	34	18	0
224	福津市	180	0	86	94	0
225	うきは市	91	0	88	3	0
226	宮若市	495	0	396	99	0
227	嘉麻市	314	0	275	39	0
228	朝倉市	207	1	196	10	0
229	みやま市	197	24	159	14	12
230	糸島市	581	0	384	197	0
305	那珂川町	106	0	80	26	0
341	宇美町	124	0	112	12	0
342	篠栗町	115	0	96	19	0
343	志免町	34	0	32	2	0
344	須恵町	60	0	56	4	0
345	新宮町	40	0	23	17	0
348	久山町	45	0	33	12	0
349	粕屋町	18	0	17	1	0
381	芦屋町	21	0	15	6	0
382	水巻町	40	0	20	20	0
383	岡垣町	68	0	39	29	0
384	遠賀町	11	0	6	5	0
401	小竹町	100	0	62	38	0
402	鞍手町	96	0	40	56	0
421	桂川町	52	0	41	11	0
447	筑前町	53	0	52	1	0
448	東峰村	86	0	80	6	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	3	40	3	8
601	香春町	32	0	25	7	0
602	添田町	169	0	135	34	0
604	糸田町	14	0	12	2	0
605	川崎町	119	0	78	41	0
608	大任町	52	0	45	7	0
609	赤村	79	0	63	16	0
610	福智町	76	0	56	20	0
621	荏田町	108	0	44	64	0
625	みやこ町	237	0	190	47	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	26	15	0
647	築上町	76	0	44	32	0
	計	8,382	66	6,060	2,256	45

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4. 4-2(11) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：中央下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	319	315	0
130	福岡市	757	0	615	142	0
202	大牟田市	235	3	202	30	0
203	久留米市	123	8	110	5	7
204	直方市	301	0	233	68	0
205	飯塚市	405	4	304	97	0
206	田川市	128	1	110	17	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	32	472	63	23
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	47	51	0
214	豊前市	54	0	37	17	0
215	中間市	31	0	27	4	0
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	0
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	0
220	宗像市	482	0	238	244	0
221	太宰府市	118	2	110	6	1
223	古賀市	52	0	35	17	0
224	福津市	180	0	94	86	0
225	うきは市	91	11	78	2	5
226	宮若市	495	0	407	88	0
227	嘉麻市	314	1	306	7	0
228	朝倉市	207	8	192	7	5
229	みやま市	197	15	168	14	5
230	糸島市	581	0	326	255	0
305	那珂川町	106	0	76	30	0
341	宇美町	124	0	112	12	0
342	篠栗町	115	0	105	10	0
343	志免町	34	0	32	2	0
344	須恵町	60	0	56	4	0
345	新宮町	40	0	23	17	0
348	久山町	45	0	34	11	0
349	粕屋町	18	0	17	1	0
381	芦屋町	21	0	16	5	0
382	水巻町	40	0	20	20	0
383	岡垣町	68	0	41	27	0
384	遠賀町	11	0	8	3	0
401	小竹町	100	0	79	21	0
402	鞍手町	96	0	49	47	0
421	桂川町	52	0	48	4	0
447	筑前町	53	1	51	1	0
448	東峰村	86	0	81	5	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	3	41	2	8
601	香春町	32	0	26	6	0
602	添田町	169	0	157	12	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	96	23	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	67	12	0
610	福智町	76	0	59	17	0
621	荻田町	108	0	51	57	0
625	みやこ町	237	0	197	40	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	36	5	0
647	築上町	76	0	49	27	0
計		8,382	89	6,311	1,982	54

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4.斜面崩壊危険度の予測

表 4.4-2(12) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：南西下部）】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	0	322	312	0
130	福岡市	757	0	539	218	0
202	大牟田市	235	0	182	53	0
203	久留米市	123	1	95	27	1
204	直方市	301	0	226	75	0
205	飯塚市	405	3	272	130	0
206	田川市	128	1	115	12	0
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	11	484	72	10
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	0	52	46	0
214	豊前市	54	0	38	16	0
215	中間市	31	0	27	4	0
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	125	14	0
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	33	5	0
220	宗像市	482	0	193	289	0
221	太宰府市	118	0	109	9	0
223	古賀市	52	0	31	21	0
224	福津市	180	0	66	114	0
225	うきは市	91	11	78	2	6
226	宮若市	495	0	397	98	0
227	嘉麻市	314	1	300	13	0
228	朝倉市	207	8	193	6	5
229	みやま市	197	1	172	24	0
230	糸島市	581	0	252	329	0
305	那珂川町	106	0	64	42	0
341	宇美町	124	0	110	14	0
342	篠栗町	115	0	79	36	0
343	志免町	34	0	30	4	0
344	須恵町	60	0	55	5	0
345	新宮町	40	0	22	18	0
348	久山町	45	0	30	15	0
349	粕屋町	18	0	12	6	0
381	芦屋町	21	0	15	6	0
382	水巻町	40	0	20	20	0
383	岡垣町	68	0	39	29	0
384	遠賀町	11	0	6	5	0
401	小竹町	100	0	72	28	0
402	鞍手町	96	0	47	49	0
421	桂川町	52	0	44	8	0
447	筑前町	53	0	52	1	0
448	東峰村	86	0	82	4	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	1	38	7	0
601	香春町	32	0	26	6	0
602	添田町	169	0	157	12	0
604	糸田町	14	0	13	1	0
605	川崎町	119	0	98	21	0
608	大任町	52	0	47	5	0
609	赤村	79	0	71	8	0
610	福智町	76	0	59	17	0
621	荻田町	108	0	54	54	0
625	みやこ町	237	0	202	35	0
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	36	5	0
647	築上町	76	0	53	23	0
	計	8,382	38	5,963	2,381	22

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

表 4.4-2(13) 崩壊危険度の高い斜面分布図【基盤一定 M6.9 深さ10km】

コード	市町村名	斜面数 (箇所)	危険度別箇所数			被災棟数 (棟)
			A	B	C	
100	北九州市	634	16	511	107	59
130	福岡市	757	17	705	35	27
202	大牟田市	235	12	198	25	14
203	久留米市	123	0	98	25	1
204	直方市	301	3	281	17	0
205	飯塚市	405	9	347	49	9
206	田川市	128	6	113	9	4
207	柳川市	0	0	0	0	0
210	八女市	567	14	486	67	6
211	筑後市	0	0	0	0	0
212	大川市	0	0	0	0	0
213	行橋市	98	2	65	31	2
214	豊前市	54	1	44	9	0
215	中間市	31	4	27	0	13
216	小郡市	16	0	12	4	0
217	筑紫野市	139	0	128	11	2
218	春日市	13	0	13	0	0
219	大野城市	38	0	37	1	1
220	宗像市	482	2	433	47	5
221	太宰府市	118	2	110	6	6
223	古賀市	52	0	48	4	0
224	福津市	180	0	161	19	0
225	うきは市	91	3	85	3	0
226	宮若市	495	5	469	21	4
227	嘉麻市	314	5	303	6	0
228	朝倉市	207	4	195	8	0
229	みやま市	197	27	159	11	12
230	糸島市	581	13	482	86	1
305	那珂川町	106	0	81	25	0
341	宇美町	124	4	108	12	1
342	篠栗町	115	2	106	7	0
343	志免町	34	1	31	2	3
344	須恵町	60	1	55	4	1
345	新宮町	40	0	35	5	0
348	久山町	45	0	43	2	0
349	粕屋町	18	1	16	1	0
381	芦屋町	21	1	20	0	0
382	水巻町	40	1	35	4	0
383	岡垣町	68	2	57	9	0
384	遠賀町	11	0	10	1	0
401	小竹町	100	1	93	6	0
402	鞍手町	96	0	82	14	0
421	桂川町	52	1	47	4	0
447	筑前町	53	0	52	1	0
448	東峰村	86	0	82	4	0
503	大刀洗町	0	0	0	0	0
522	大木町	0	0	0	0	0
544	広川町	46	1	38	7	0
601	香春町	32	1	30	1	3
602	添田町	169	4	153	12	0
604	糸田町	14	2	11	1	1
605	川崎町	119	0	110	9	0
608	大任町	52	2	45	5	0
609	赤村	79	2	73	4	0
610	福智町	76	5	68	3	0
621	荏田町	108	3	79	26	1
625	みやこ町	237	11	208	18	1
642	吉富町	8	0	4	4	0
646	上毛町	41	0	38	3	0
647	築上町	76	3	57	16	0
	計	8,382	194	7,377	811	177

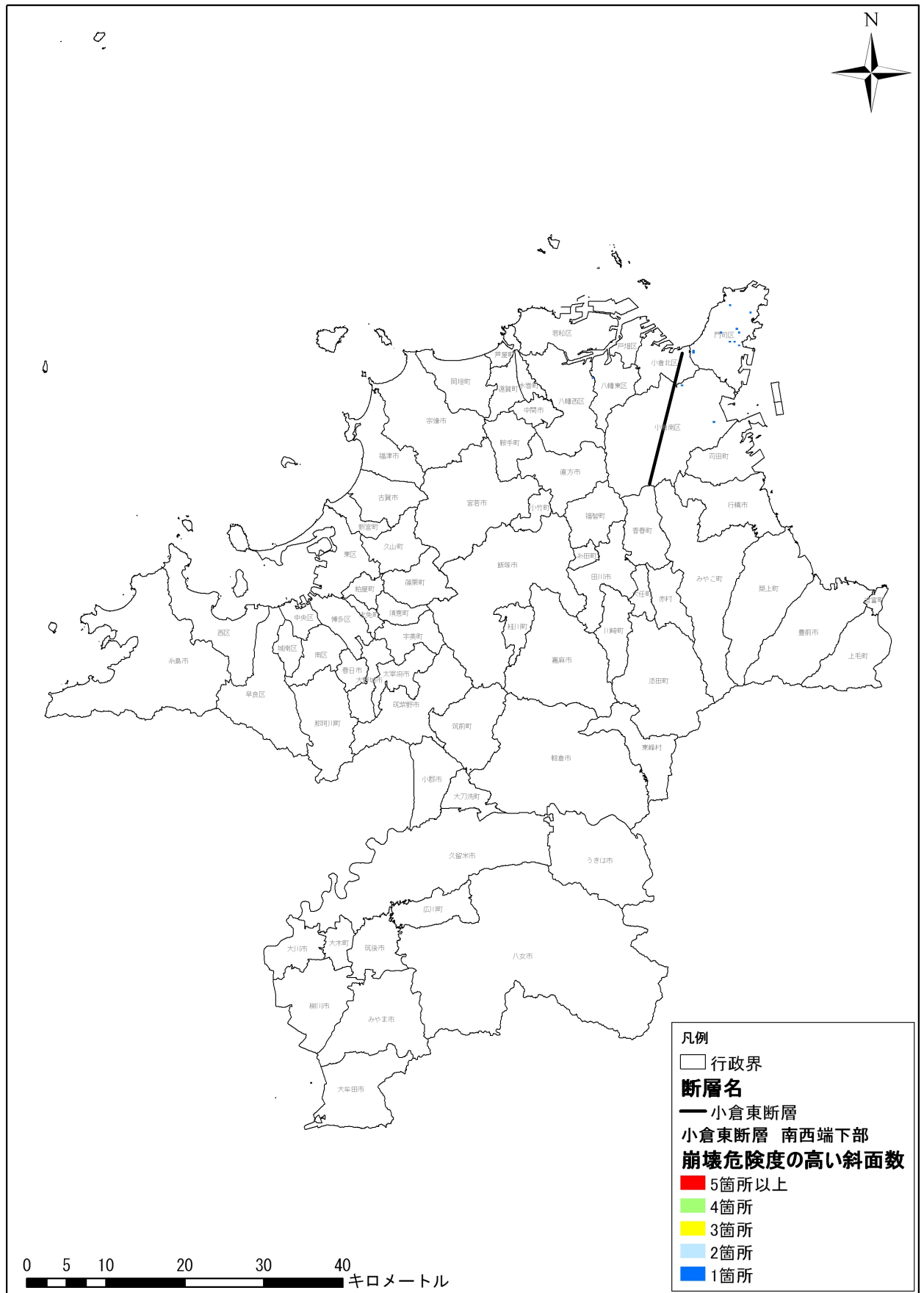


図 4. 4-1(1) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：南西下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4. 斜面崩壊危険度の予測

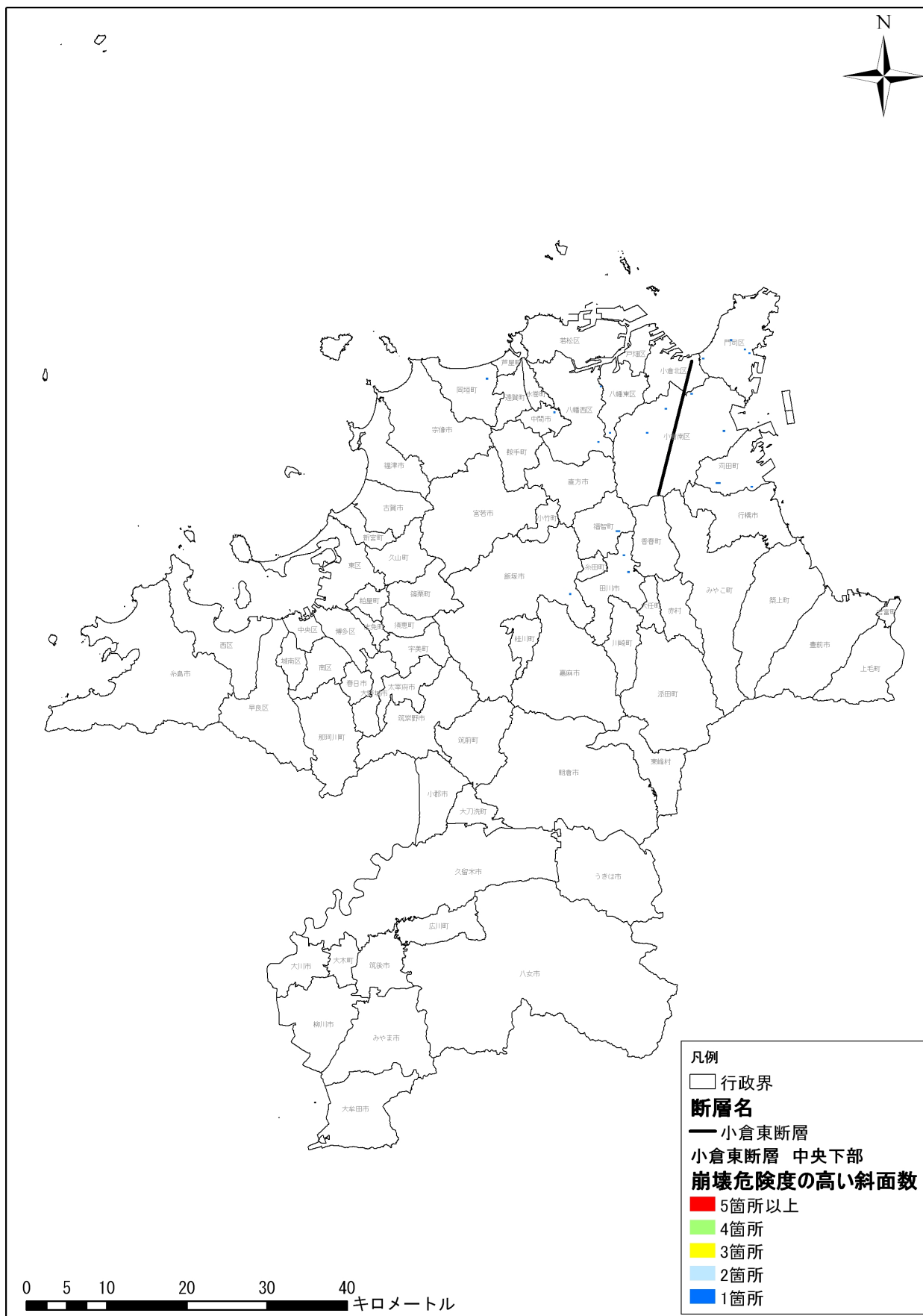


図 4. 4-1 (2) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：中央下部）】

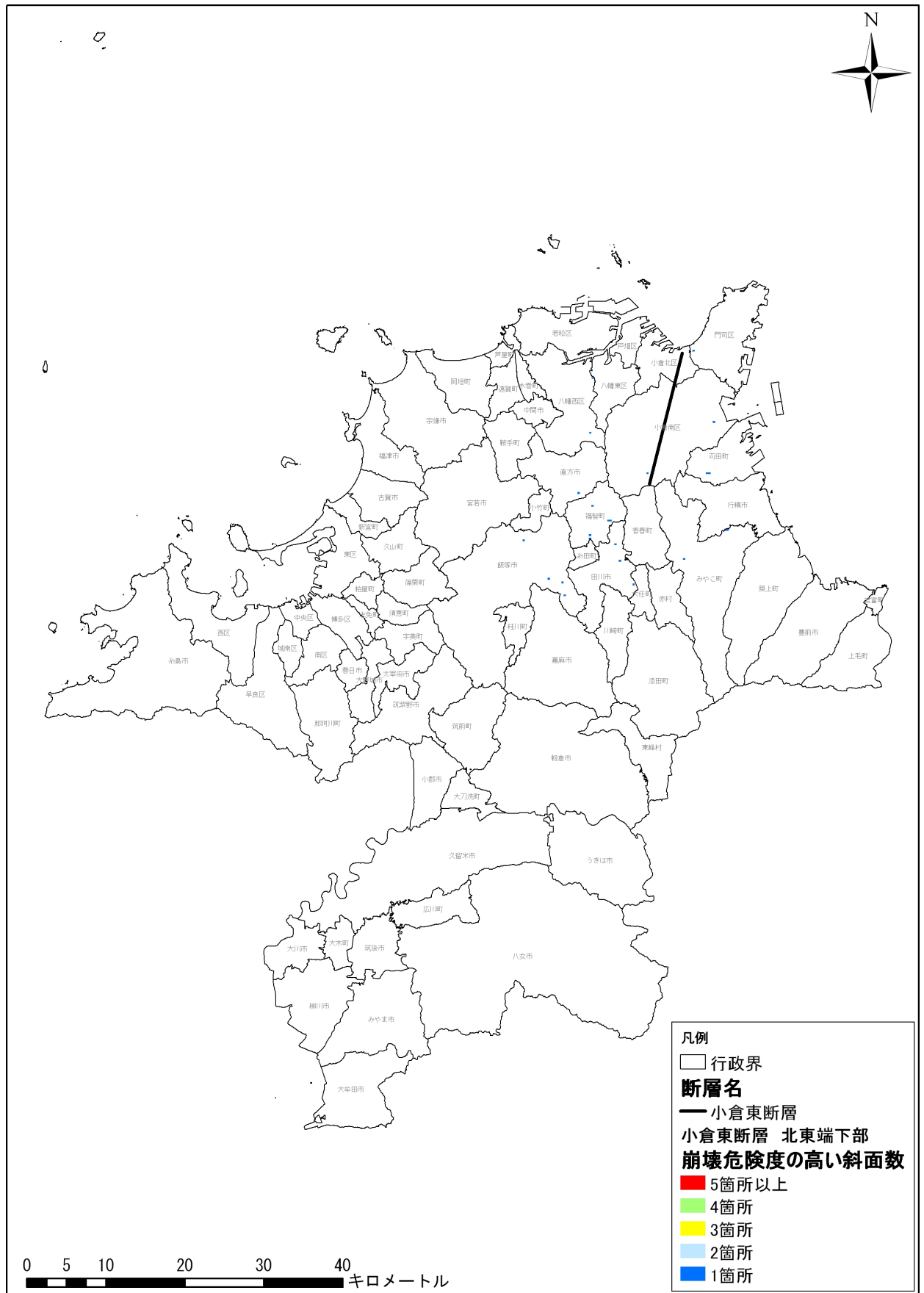


図 4. 4-1 (3) 崩壊危険度の高い斜面分布図【小倉東断層（破壊開始：北東下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法

4. 斜面崩壊危険度の予測

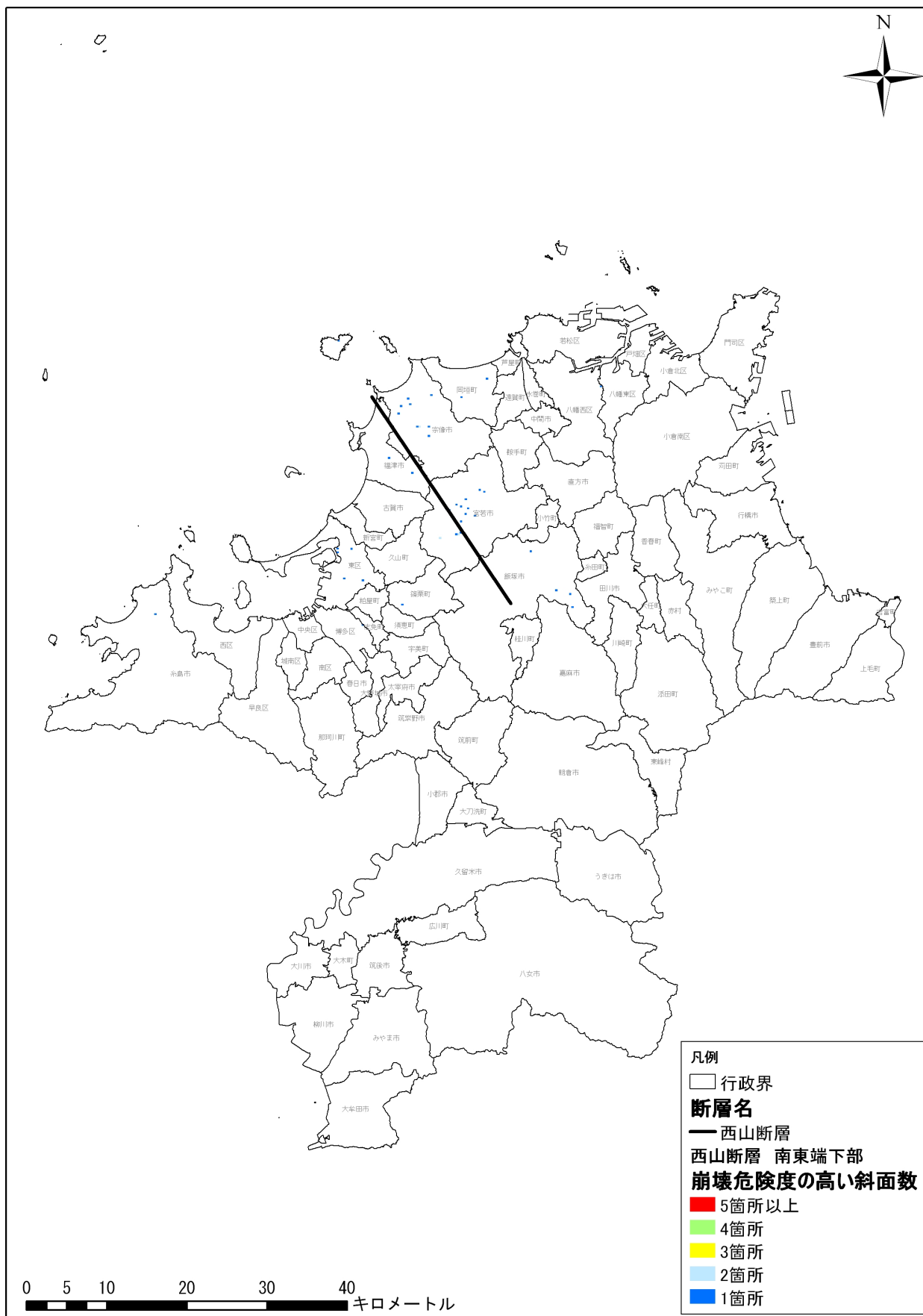


図 4. 4-1(4) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：南東下部）】



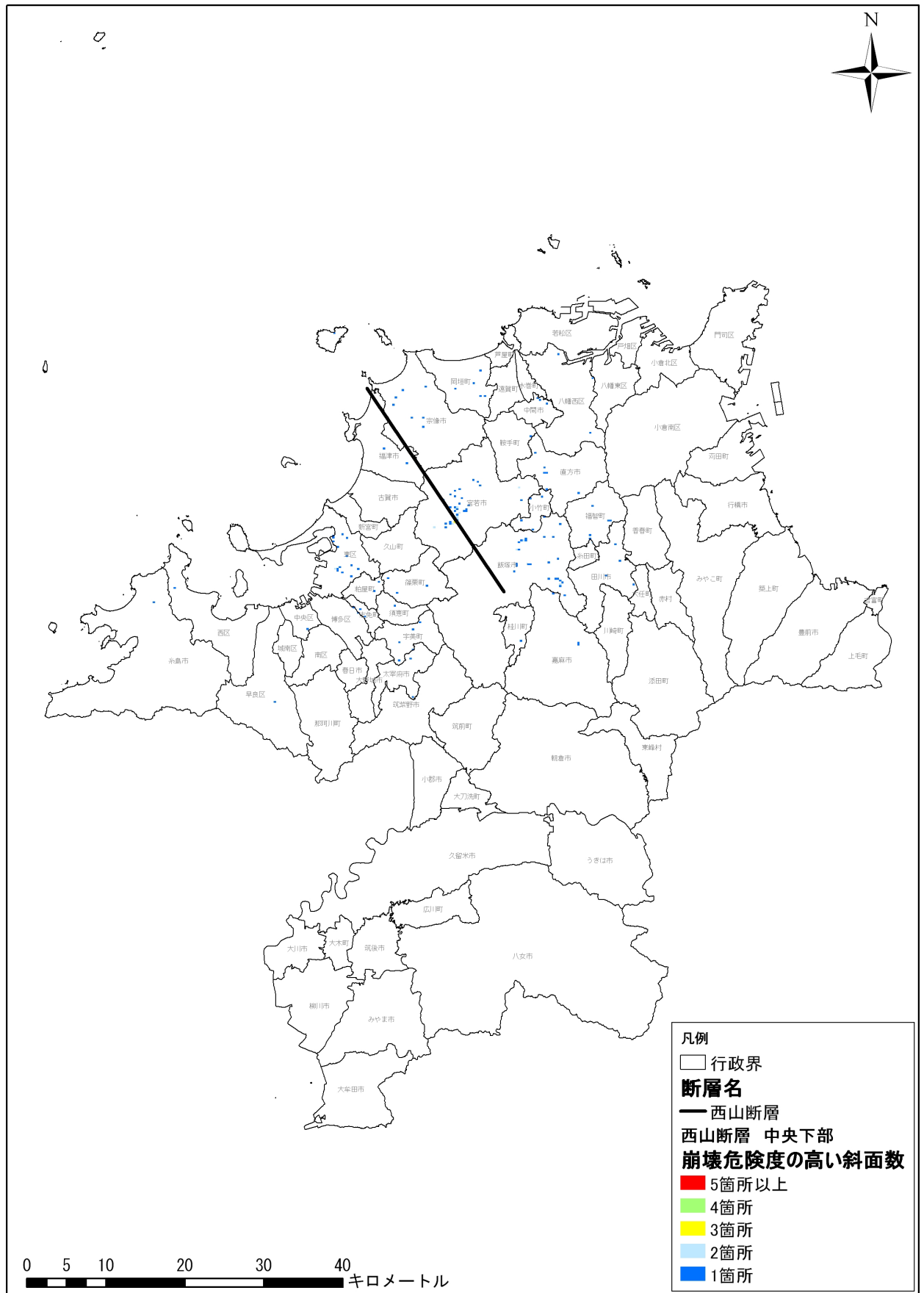


図 4. 4-1 (5) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：中央下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4. 斜面崩壊危険度の予測

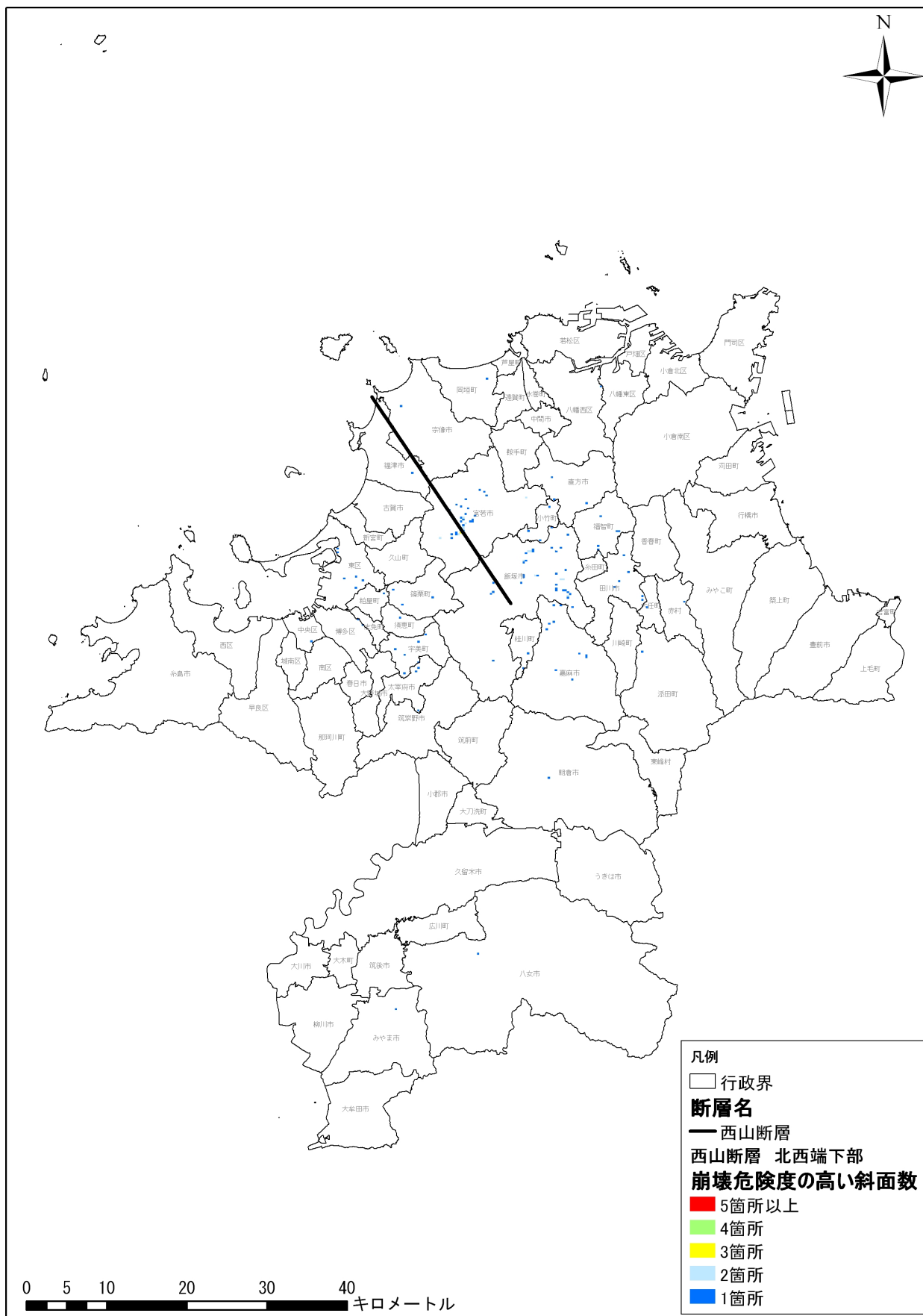


図 4. 4-1(6) 崩壊危険度の高い斜面分布図【西山断層（破壊開始：北西下部）】

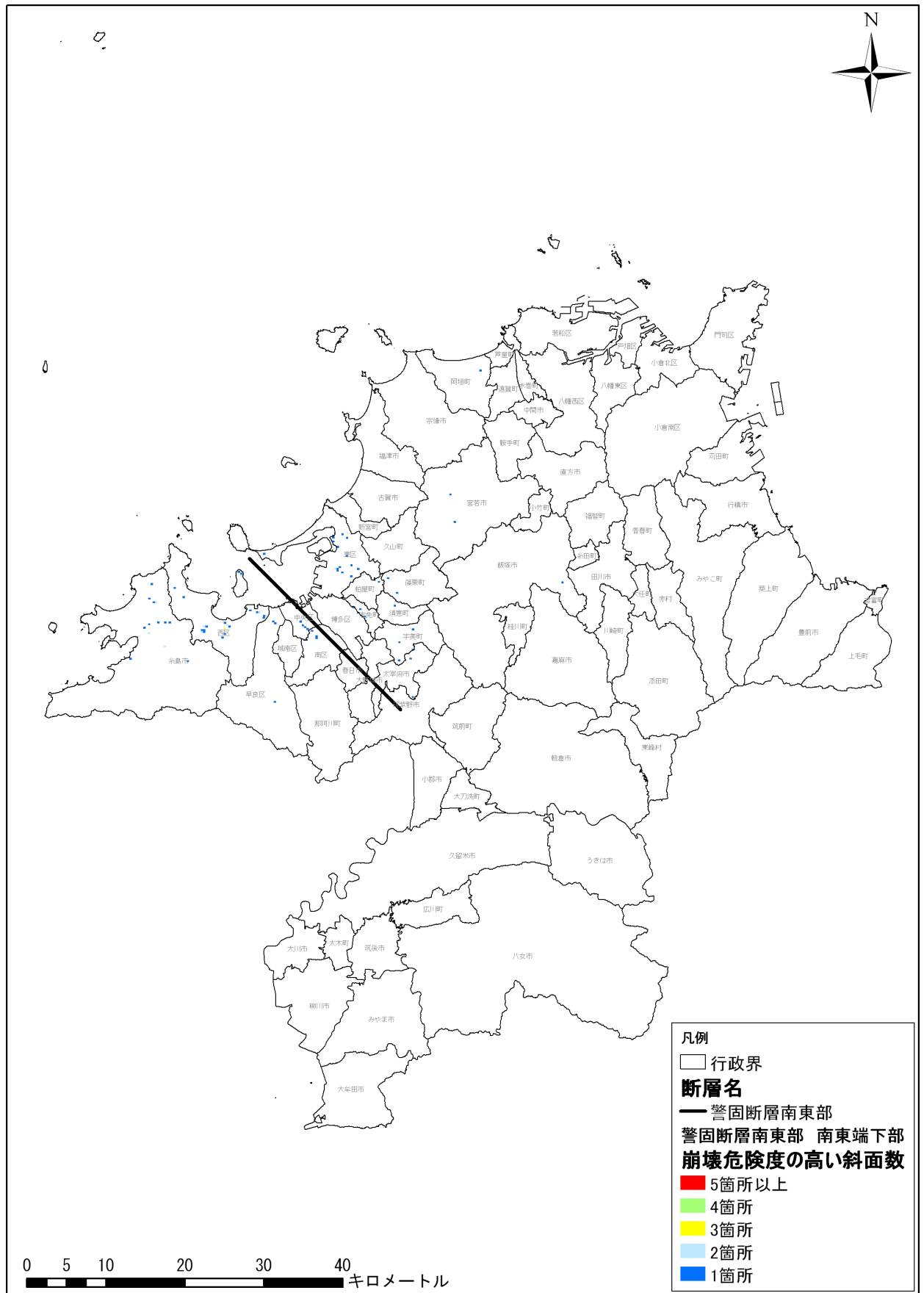


図 4. 4-1 (7) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：南東下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4. 斜面崩壊危険度の予測

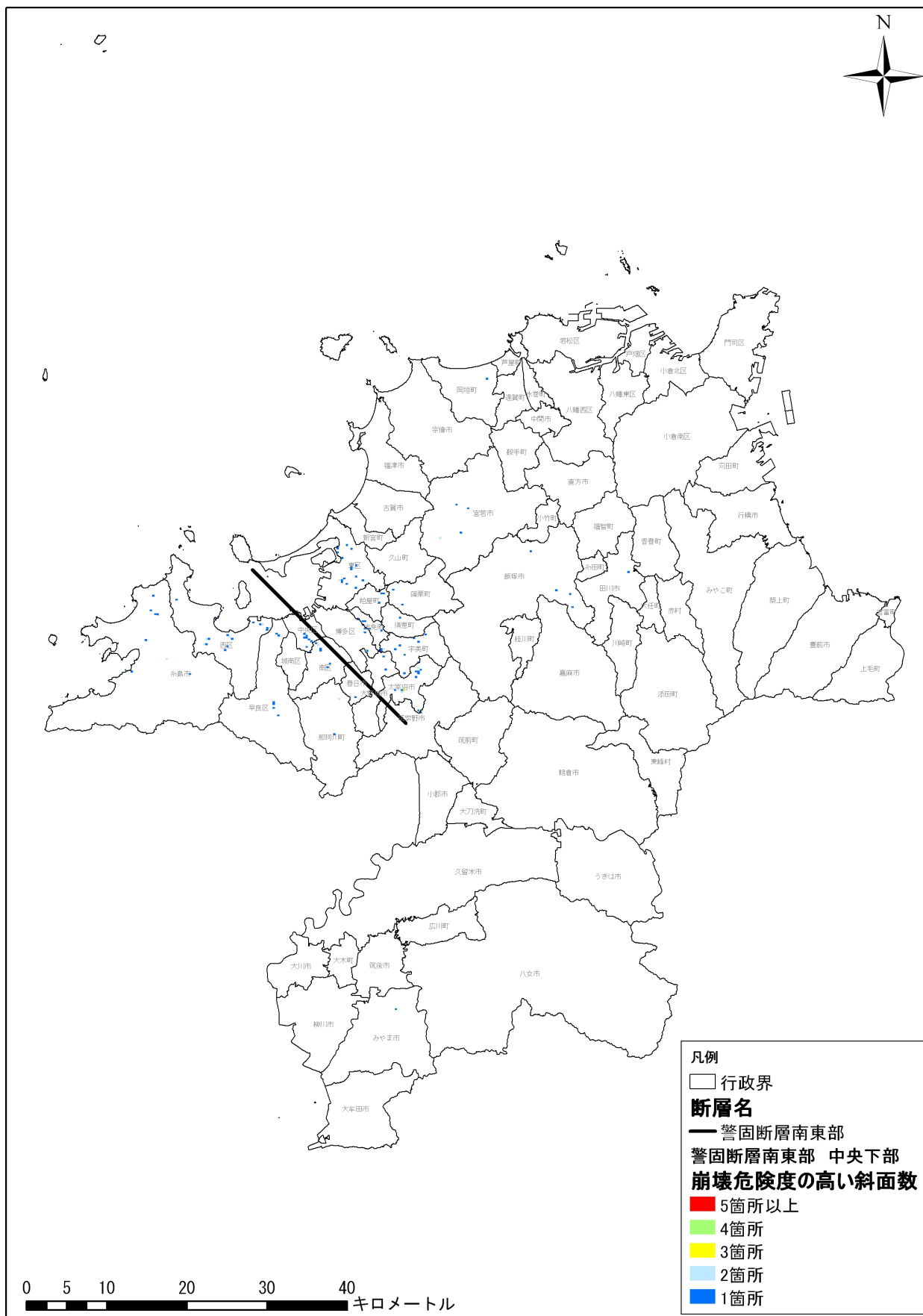


図 4. 4-1 (8) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：中央下部）】

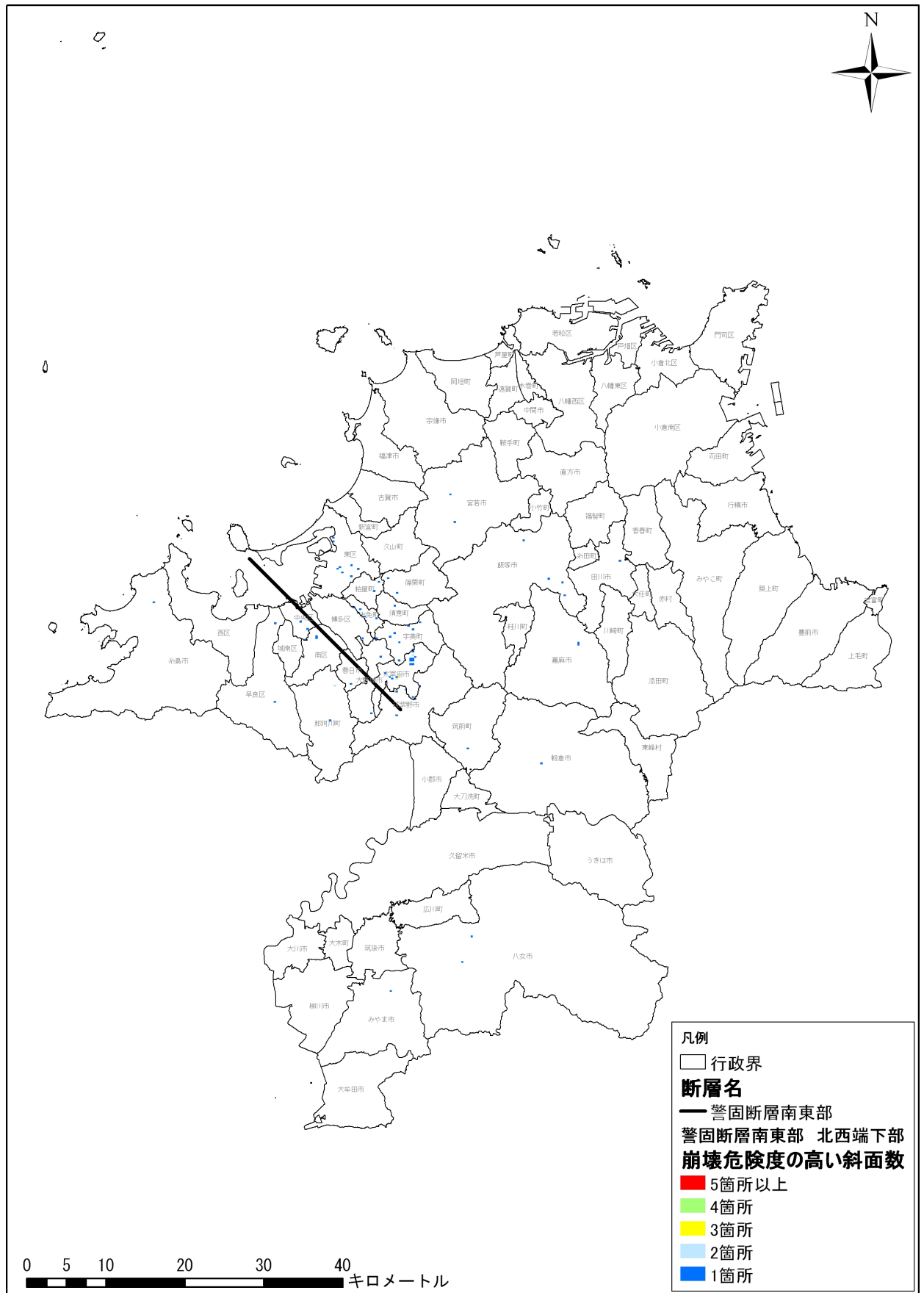


図 4. 4-1 (9) 崩壊危険度の高い斜面分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：北西下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4. 斜面崩壊危険度の予測

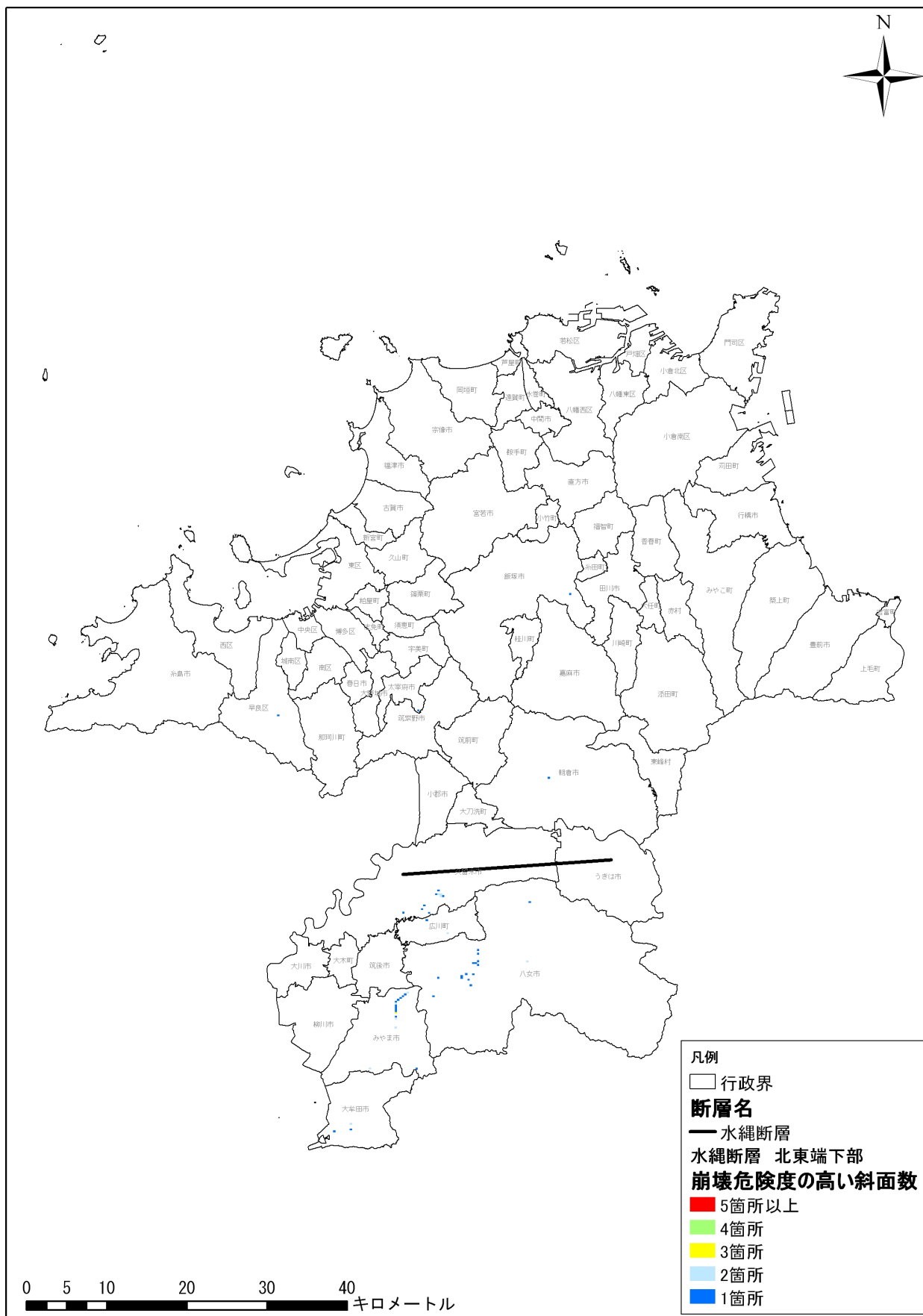


図 4. 4-1 (10) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：北東下部）】

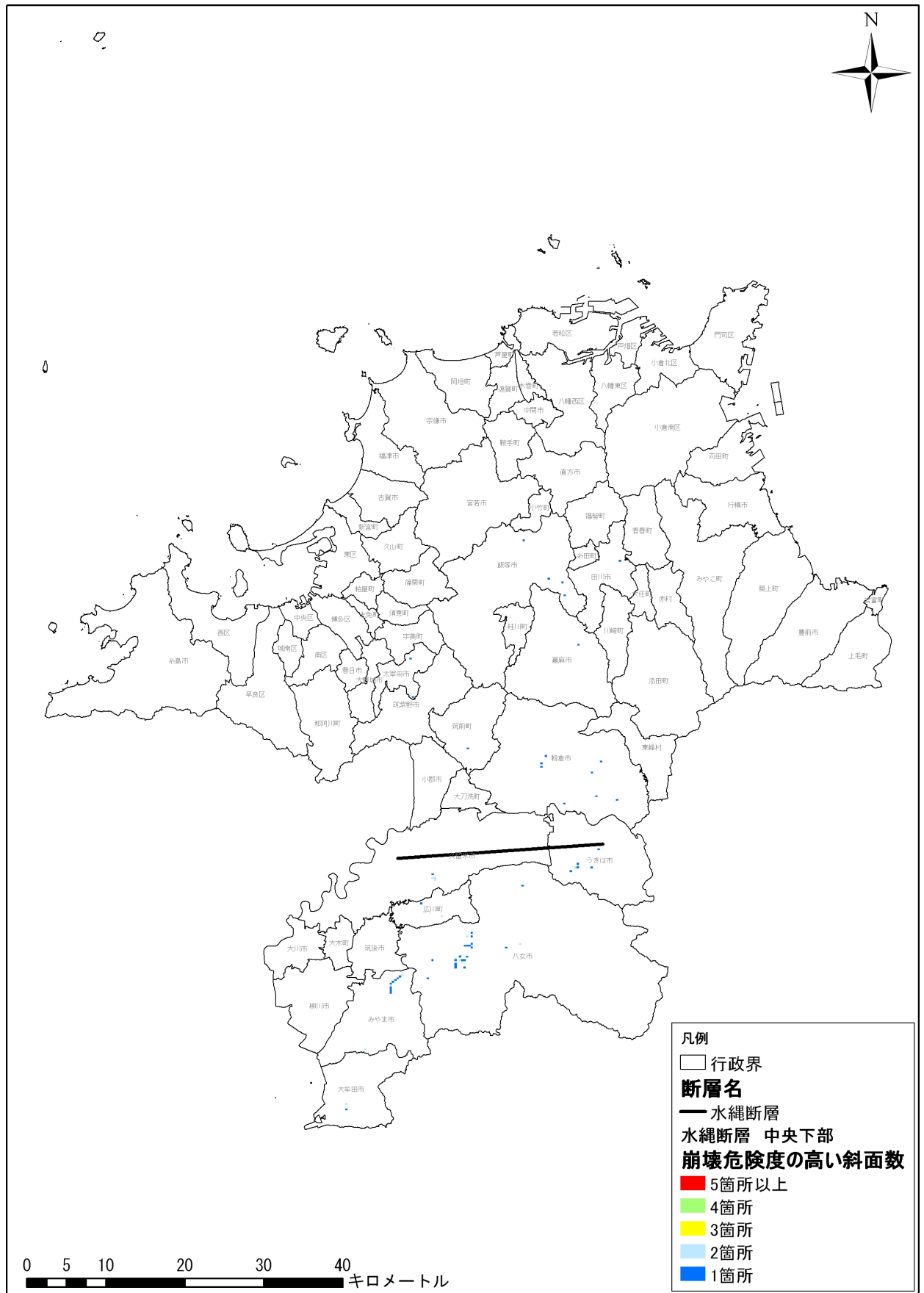


図 4. 4-1 (11) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：中央下部）】

第Ⅱ編 想定地震と被害予測手法  
4. 斜面崩壊危険度の予測

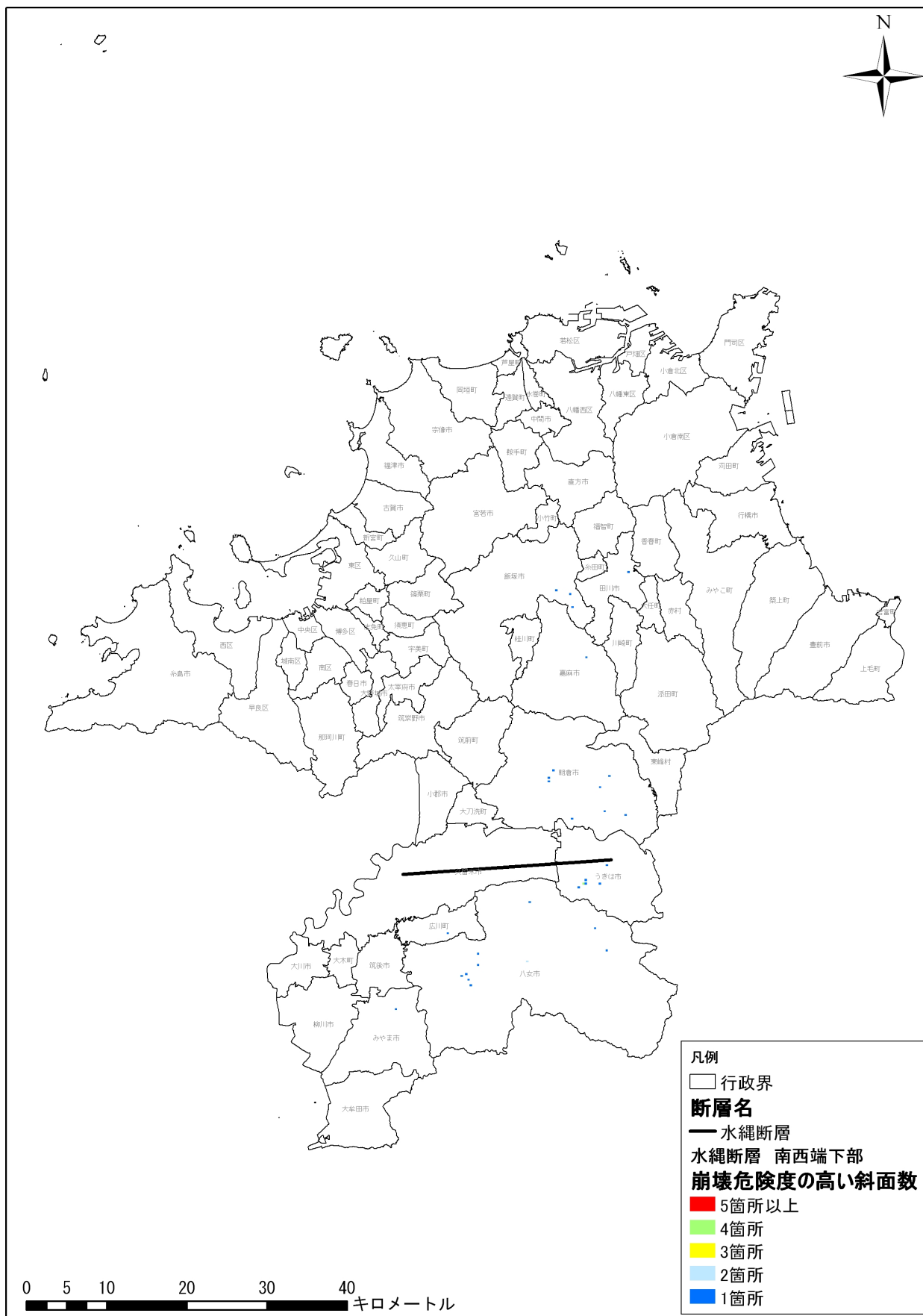


図 4. 4-1 (12) 崩壊危険度の高い斜面分布図【水縄断層（破壊開始：南西下部）】



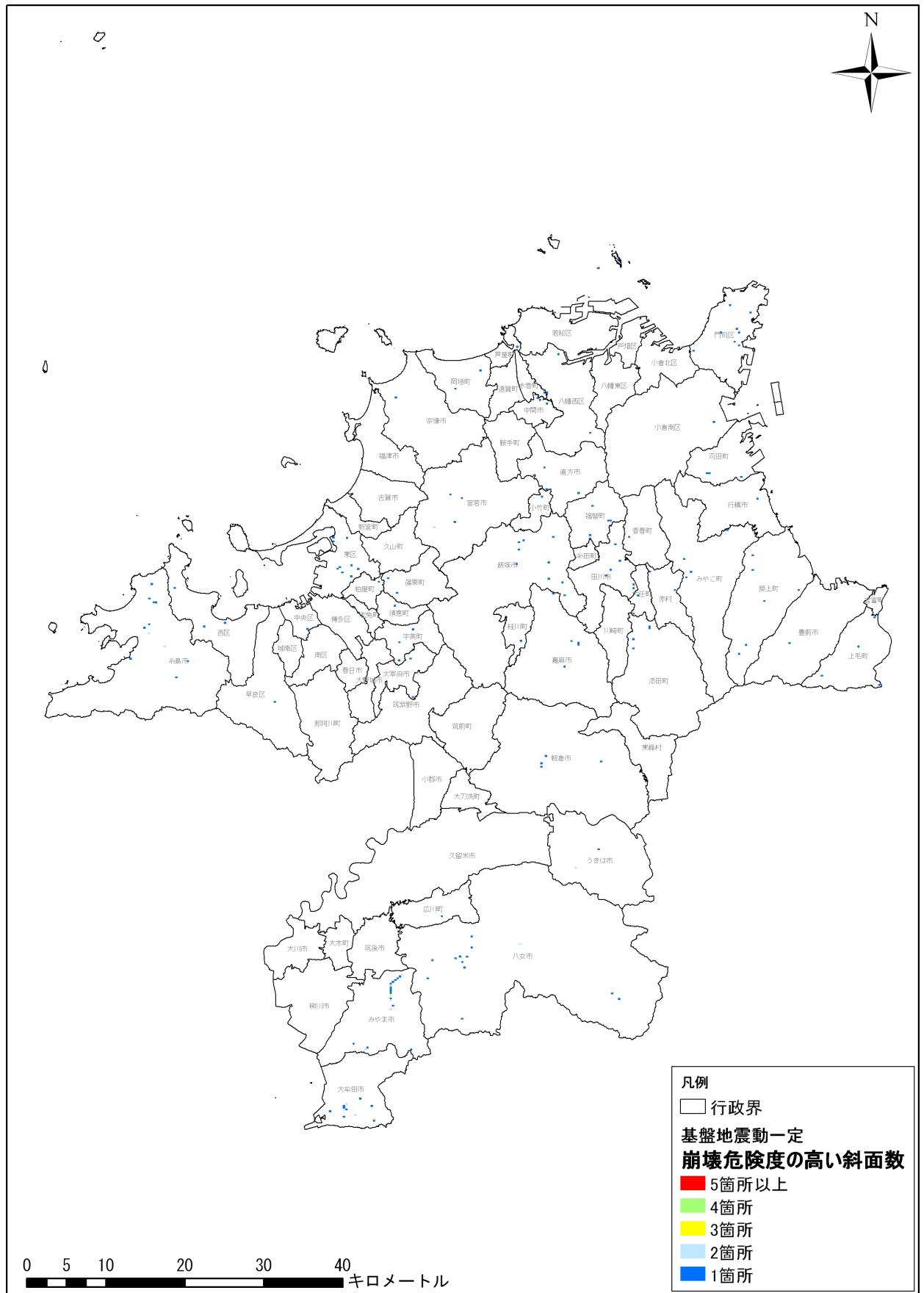


図 4. 4-1 (13) 崩壊危険度の高い斜面分布図【基盤一定 M6.9 深さ 10km】

(注) 全県で一度にこのような危険度となることはありません。本図は、各市町村毎の危険度を見るためのもので、現実に県内一様に基盤地震動が発生することはありません。